

補助事業番号 21-23  
補助事業名 平成21年度 中小企業の情報化促進に関する調査研究補助事業  
補助事業者名 財団法人 全国中小企業情報化促進センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

中小企業も大企業同様に、市場の変化に対応し競争力を高め発展していくためには、ITを高度に利活用することが喫緊の課題である。そのために、中小企業の情報化に対して現実に抱えている課題や問題点等の実態を調査し、加えて、支援センターが中小企業を支援していく為に抱えている課題、中小企業が求める支援策等を調査研究し、併せて、中小企業の情報化の啓発を図る為、情報化促進フェアの開催により、機械工業の振興、発展に資することを目的とする。

### (2) 実施内容

#### ① 「中小企業の情報化に関するセミナー開催事業」

(<http://www.n-i-c.or.jp/tosmb/2009seminar.html>)

地域の中小企業のIT利活用を促進するため、「中小企業の情報セキュリティに関する調査研究事業」をベースに、昨年度より「情報セキュリティと個人情報保護」をテーマに、都道府県中小企業支援センターと連携して、地元の中小企業経営者、情報担当役員等に対して参加料無料のセミナーを全国6ブロックで開催した。

#### ② 「中小企業情報化促進フェアの開催事業」

(<http://www.n-i-c.or.jp/tosmb/fair2009.html>)

平成21年11月5日(木)～6日(金)の2日間、情報化部会(講演会・情報化優良企業表彰)と情報化支援担当の役職員を対象とした支援センター部会(役職員表彰・支援事例発表)の二部構成で東京にて実施した。

## 2. 予想される事業実施効果

### ① 「中小企業の情報化に関するセミナー」

参加者の内訳をみると、中小企業者だけではなく、彼らを支援する立場の中小企業支援機関の職員や中小企業診断士、ITコーディネータも多数参加しており、相乗効果も期待される。また、宮城県、埼玉県、兵庫県、宮崎県では県外からの参加者があり、北海道や宮崎県では県庁所在地から遠く離れた地域で、本セミナーと同様のテーマのセミナーがほとんど開催されないため、日帰りでは参加できない市町村

から参加する中小企業支援機関の職員や中小企業者もあり、地方開催の意義も大いに認められる結果となった。

#### ②「中小企業情報化促進フェアの開催」

「もっと時間をかけて詳しい説明が欲しい」、「質疑応答時間が欲しい」、「自分の住む県でも講演をして欲しい」といった参加者からの要望もあり、時宜を得たテーマであったため、参加者の興味も高く、情報化促進に寄与できたものと思われる。また、当財団の機関誌でも毎号情報化支援事例を掲載しているが、さらに当該フェア開催後直近で発行した機関誌では、J-SaaSの概要とその活用事例を紹介するなど、支援センター職員の情報分野に関する新しい知識の収集等による資質の向上により、地域中小企業者へのサポート力を強化し、地域中小企業の情報化促進に貢献できたと思われる。

### 3. 本事業により作成した印刷物等

#### ①中小企業の情報化に関するセミナー

- ・地域中小企業情報化促進セミナーテキスト
- ・都道府県等情報支援機関ガイド

#### ②中小企業情報化促進フェアの開催

- ・2009 中小企業情報化促進フェア IN TOKYO 講演録
- ・2009 中小企業情報化促進フェア IN TOKYO パンフレット

### 4. 事業内容についての問合せ先

団 体 名：財団法人全国中小企業情報化促進センター

(ザイダンホウジンゼンコクチュウシヨウキギョウジョウホウカソクシンセンター)

住 所：〒104-0061

東京都中央区銀座4丁目10番5号三幸ビル本館6F

代 表 者：会長 見学 信敬 (ケンガク ノブタカ)

担当者部署：事務局

担 当 者 名：次長 大串 卓司 (オオグシ タクジ)

電 話 番 号：03-3549-1820

F A X：03-3549-1813

E-mail：[daihyo@n-i-c.or.jp](mailto:daihyo@n-i-c.or.jp)

U R L：<http://www.n-i-c.or.jp/>